



富山県SDGs宣言実施状況報告書



令和8年4月1日

企業・団体名 社会福祉法人 萬葉の杜福祉会

代表者名 理事長 松谷 三和

富山県SDGs宣言において宣言した取組みの実施状況について、下記の通り報告します。

記

1 取組み期間 令和3年7月11日～令和8年3月31日

2 取組みの実施状況

No.	SDGsの達成に向けた目標と取組の実施状況
1	<p>【目標】 スタッフが長く働きやすい職場環境を創る。</p> <p>【実施状況】 ・妊娠中のスタッフに対しては、本人の体調や体力に配慮し、無理のない範囲で休憩や公休を取得できるよう支援している。 ・子育てや介護を行うスタッフに対し、子どもの行事・送迎、家族の受診付き添い等に合わせて、希望公休へ柔軟に対応している。特に子(孫)育て中のスタッフについては、本人の意向を尊重しながらシフト調整を行っている。 ・全スタッフを対象に、年1回以上の健康診断を実施している。また、リーダー層については、メンタルヘルスへの配慮として年2回のカウンセリングを実施している。 ・高齢スタッフに対しては、わかりやすい言葉で業務伝達を行うなど、継続して働きやすい職場環境づくりに取り組んでいる。 ・病気や障害のあるスタッフについては、本人の状況に応じて業務内容を工夫し、他スタッフとも協力しながら働きやすい環境整備を行っている。</p>
2	<p>【目標】 質の高い福祉サービス提供のため公欲的学びを止めない。</p> <p>【実施状況】 ・年2回の面接を実施し、スタッフ一人ひとりが希望する研修内容や学びたい分野を確認し、実践的な研修につなげている。 ・高齢スタッフに対しては、身体的負担や移動面にも配慮し、近隣で受講できる研修を選定するなど、参加しやすい環境づくりを行っている。 ・福祉業界の発展およびサービスの質向上を目的として、9割以上のスタッフがOJT・OFF-JTへ参加した。年1回の全体研修では、「人生を良くする働き方」をテーマに、ポジティブ心理学の考え方を取り入れた内容を実施し、スタッフから好評を得た。 ・スタッフの資格取得に向けた支援を行っており、研修費用の補助や勤務調整等を通して、学びやすい環境整備に取り組んでいる。 ・プロフェッショナル対人援助技術研修では、コンプライアンス、ガバナンス、コミュニケーション技術、傾聴などを学び、接遇力や対人支援力の向上に努めた。 ・家族介護教室(腰痛予防)を実施し、地域住民との交流や学びの機会づくりを行った。</p>
3	<p>【目標】 廃棄物ロスのゼロを目指す。</p> <p>【実施状況】 ・災害用備蓄食材については、賞味期限が近いものを献立へ工夫して取り入れ、食品ロスや廃棄削減に努めた。 ・令和7年1月1日の能登半島地震に関連して寄付された飲料水については、賞味期限が近いものから順次活用し、資源の有効利用を行った。 ・委託先の給食会社と連携し、食事の味・見た目・量などを定期的に確認しながら、食べ残しの軽減や廃棄物削減に取り組んだ。 ・退去者の荷物については、可能な限り施設で引き取り、再活用を行うことで、廃棄物削減と資源の有効活用に取り組んでいる。</p>

※宣言日(ウェブサイト掲載日)から3か月に満たない場合は、翌年度からの報告となります。